

保安施設設置基準

- ・道路工事現場における標示施設等の設置基準（建設省道路局長通知、昭和 37 年 8 月 30 日）
 - ・維持修繕工事保安施設設置基準（案）（建設省道路局昭和 40 年 10 月）
 - ・道路工事保安施設設置基準（案）（道路局国道第一課昭和 46 年 5 月 27 日）
- ）を含んでいる。

円滑な道路交通と現場作業員の安全を確保するため道路工事（道路占用工事にかかるものを含む、以下同じ）現場における標示施設、防護施設の設置及びこれら管理の取扱いを下記のとおり定める。

（道路工事の標識等）

1 . 道路工事を行う場合は、必要な道路標識を設置するほか工事区間の起終点ならびに修繕、舗装工事等工事延長が長く、しかも一日の施工延長の短い場合は、当日の施工箇所の前後にも別表様式（保安施設標準様式。以下単に様式という。）の 6 番に示す標示板を設置するものとする。

ただし、短期間に完了する軽易な工事については、この限りでない。なお、工事期間については、交通上支障を与える実際の期間を記入するものとする。標識等は道路構造令に定める視距を満足する位置に設置し、交通量その他現地の状況により枚数等を定める。作業休止中で通行に支障のない場合、標識等を撤去するか又はシート等にかくこと。

（夜間作業又は昼夜兼行作業の標示）

2 . 夜間作業又は昼夜兼行作業を行う道路工事現場においては、別表様式 6 番に示すとおり道路工事の標示板の直上に、表示板 A 型又は B 型をそれぞれ標示するものとする。

（防護施設等の設置）

3 . 工事中の歩行者対策については万全の措置を講じること。又、車輛等の侵入を防ぐ必要のある工事箇所には、両面にバリケードを設置し、交通に対する危険の程度に応じて赤ランプ、標識等を用いて工事現場を囲むものとする。

（まわり道の標示）

4 . 道路工事のためまわり道を設ける場合は、当該まわり道を必要とする時間中、まわり道の入口に別記様式 12 番に示す標示板を設置し、まわり道の途中の各交差点（迷い込むおそれのない小分岐を除く。）において、別表図 1 及び図 2 に示す要領により道路標識「まわり道」（120-A）を別表様式 13 番に示す補助板を附して設置するものとする。（参考（1）、参考（2）、及び参考（3）を参照）

（色 彩）

5 . 道路工事現場において、一般交通に対する標示を目的として、標示施設又は防護施設に色彩を施す場合は、黄色と黒色斜の縞模様（幅 10 cm 以上 15 cm 以下、反射処理）を用いるものとする。

（施設の管理）

6 . 道路工事現場における標示板及び防護施設は、堅固な構造とし所定の位置に整然と設置して修繕、塗装、清掃等の維持を常時行うほか、夜間においては遠方から確認し得るよう照明又は反射装置を施すものとする。

（安全管理）

7 . 当該工事を施工する請負者及び作業員は次の事項について、特に注意し実施しなければならない。

（1）作業開始前に作業内容についての保安上の注意、保安施設の配置、服装、機械等の点検を行うこと。

- (2) 工事材料、材料器具の整理に留意すると共に車輛等に注意し、自己を危険より守る努力をしなければならない。
- (3) 作業員はヘルメット（保安帽）をかぶり、現道工事では安全衣（夜間は反射）を着用し、現場責任者・安全管理者等は腕章をつけること。その他作業内容によりマスク、手袋、高所作業用の滑らない履物等を着用すること。
- (4) 事故発生の際の車輛の通行方法、まわり道、警察、病院等の所在地その他とるべき必要な措置について予め考慮しておくこと。
- (5) 保安施設の設置にあたっては下記参考事項により、現場の実状を勘案の上実施すること。

参考 1 作業員の安全確保のための保安施設およびその配置については各作業種別毎に交通量その他現場作業条件を考慮に入れて決定するものとする。

2 保安施設の基準ならびのその設置参考図を別表に示す。

- (6) 片側交互通行を行う場合は交通整理員（交通誘導員）又は信号機をつけること。その他必要な場合は交通整理員（交通誘導員）をつけること。

（文字の書体）

8. 書体は、「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令、別表第2備考」に規定するところによる。

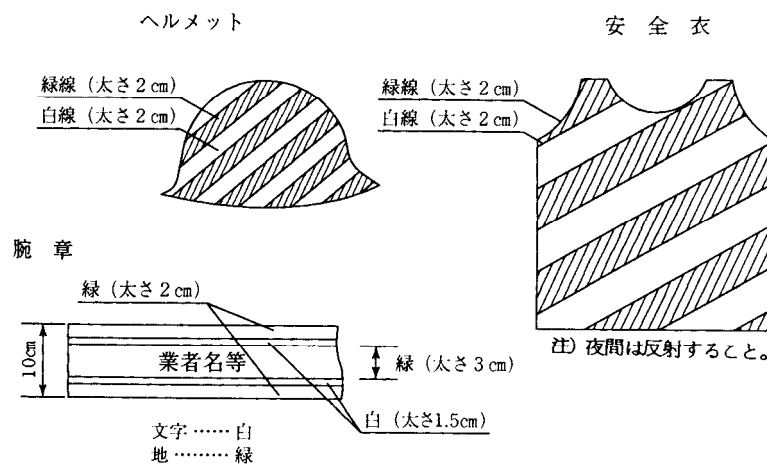
（標示板の拡大）

9. 標示板の大きさ等は必要に応じて所定の比率のまま拡大出来るものとする。

（交通整理員）

10. 交通整理員（交通誘導員）は現場作業責任者又は安全管理者等の指示に従い、はっきりした動作で適切な交通処理をすること。

又下図に示した服装（ガードマンの場合は制服）、腕章をつけ、警笛、手旗（夜間は信号灯）を携帯すること。



（発注者名の標示）

11. 発注者名の標示は下記を標準とする。

- (1) 岡山市 局 課 係
- (2) 岡山市 区役所 課 係
- (3) 岡山市 区役所 支所 課
- (4) その他は上記(1)(2)(3)に準ずる。

(工事名称の標示)

12. 工事名称の標示は一般通行人に分かり易い名称に心がけることとし、別紙を標準とする。

(留意事項)

13. 標示施設等の設置基準の留意事項は次による。

(1) 緊急を要する工事の外は美観を損なわないものであること。

(2) 字は規定どおりの大きさとする。

(3) 字はマジック等で粗末に書かないこと。

発注者名及び請負者名は必ずペンキで記入すること。

保安施設設置標準図一覽票

| 呼 称 | 適用条件（例示のない場合、適用条件類似のものに準じて処理のこと） | | | | |
|-------|---|-------|-------|----------------------|-------------|
| | 工 種 | 車 線 数 | 昼 夜 別 | 作業箇所 | 摘 要 |
| A-1型 | 車 道 打 換 舗 装 | 4 車 線 | 夜間作業 | 片側全車線 | 路面軌道のある場合 |
| A-2 " | | 2 車 線 | " | " | |
| A-3 " | | 4車線以上 | " | 片側一部車線 | |
| A-4 " | | " | " | 片側全車線 | |
| B-1 " | 作 業 休 止 | 4車線以上 | 昼 夜 間 | " " | |
| B-2 " | | 2 車 線 | " | " " | |
| C-1 " | } 局部打換(小規模)、カットカバー } パ ッ チ ン グ 等 | 2 車 | 夜間作業 | " " | 工事箇所が短時間で移動 |
| C-2 " | | 4車線以上 | " | 片側一部車線 | " |
| D-2 " | 目 地 シ ー ル | | 日間作業 | 片側全車線 | 比較的短時間で移動 |
| D-2 " | | | " | 片側一部車線 | " |
| E " | レ ー ン マ ー ク 作 業 | | " | 車道区画線 | |
| F-1 " | 路 面 、 清 掃 街 渠 枳 清 掃 ガードレール、標識、街渠等の設置修繕路 肩整正除草、ガードレールの清掃等 | | 夜間作業 | 車 道 | |
| F-2 " | | | " | 路 側 | |
| F-3 " | | | " | 路 側 、 路 肩 又 は 歩 道 | |
| G | 歩道、道路照明、ケーブル埋設、建柱等 | | 夜間作業 | 歩 道 | |

保安施設の設置目的


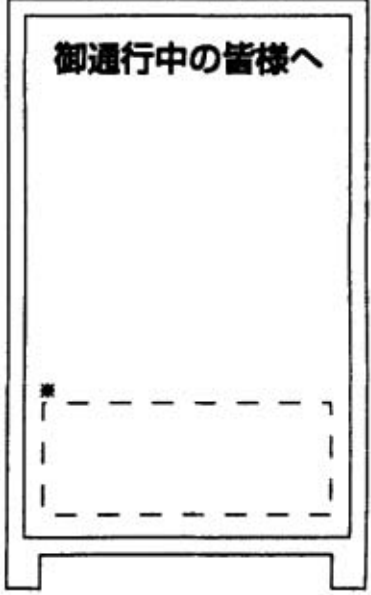
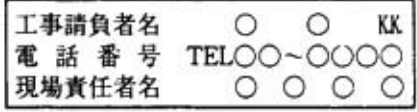
| 施設 | 記号 | 交通の誘導 | 立入防止 | 場所の明示予告 | 交通指導 | その他 | 摘要 |
|------------------|----|-------|------|---------|------|-----|------------------|
| 照明灯 | | | | ○ | | | 300~500W |
| 保安灯 | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 歩道柵 | | | ○ | ○ | | | |
| バリケード | | | ○ | ○ | | | |
| 〃 | | | ○ | ○ | | | 砂袋等にて半固定させたバリケード |
| セーフテークン | ○ | ○ | | ○ | | | |
| 警戒標識(213) | ① | | | ○ | | | |
| 警戒標識(211) | ② | | | ○ | | | |
| 警戒標識(212-2) | ③ | | | ○ | | | |
| 規制標識(311-E) | ④ | ○ | | | ○ | | |
| 規制標識(329) | ⑤ | | | | ○ | | |
| 工事標示板 | ⑥ | | | | | ○ | |
| お願い標示板 | ⑦ | | | | | ○ | |
| 黄色回転灯 | ⑩ | | | ○ | | | |
| 保安要員 | | ○ | ○ | | ○ | ○ | |
| 交通整理員(交通誘導員) | | ○ | | | ○ | | |
| 作業車(又はこれに代行するもの) | | | ○ | | | | |
| 誘導標示板 | ⑪ | ○ | | ○ | ○ | | |
| まわり道案内標示板 | ⑫ | | | | | ○ | |
| まわり道標識(120-A) | ⑬ | | | | | ○ | |

保安施設標準様式図

| 記号 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---------------------|---|---|---|---|--|
| 名称 | 警戒標識(213) | 警戒標識(211) | 警戒標識(212-2) | 規則標識(311-E) | 規則標識(329) |
| 様式および標準寸法 (単位mm) | | | | | |
| 注 | <p>拡大率1.6倍を標準とするが場所によって1倍または1.3倍を用いることができる。補助標識必要とするときは50M先、100M先100～500M先を現場の実状に応じて使用する。</p> | <p>拡大率1.6倍を標準とするが、場所によって1倍、または1.3倍を用いることができる。</p> | <p>拡大率1.6倍を標準とするが、場所によって1倍、または1.3倍を用いることができる。</p> | <p>拡大率1.6倍を標準とするが、場所によって1倍、または1.3倍を用いることができる。</p> | <p>拡大率1.6倍を標準とするが場所によって1倍または1.3倍を用いることができる。交通量および現場の状況により適宜設置すること。</p> |

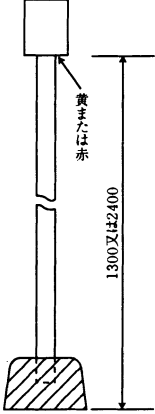
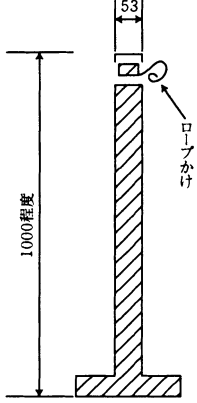
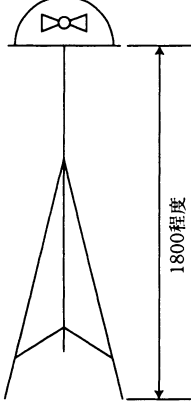
保安施設標準様式図

基準

| 記号 | ⑥ | ⑦ |
|---------------------|--|---|
| 名称 | 工事標示板 | お願い標示板 |
| 様式および標準寸法 (単位mm) |  |  |
| 注 | <p>(1) 色彩は「道路工事中」を赤色、その他の文字、線を青色、地を白色とする。「昼夜間」のうち、「昼」「間」は白銀スコッチテープ地は青とし、「夜」は青色、地はスコッチテープとする。</p> <p>(2) 緑の余白は、2 cm、緑線の太さは1 cm、区画線の太さは0.5cmとする。</p> <p>(3) 裏側には当該警察署の協議事項を記入する。</p> | <p>白地に黒文字とする。</p> <p>※</p>  <p>110条11項に定めるもので工事標示板⑥、お願い標示板⑦のいずれにも記入する。</p> |

保安施設標準様式図

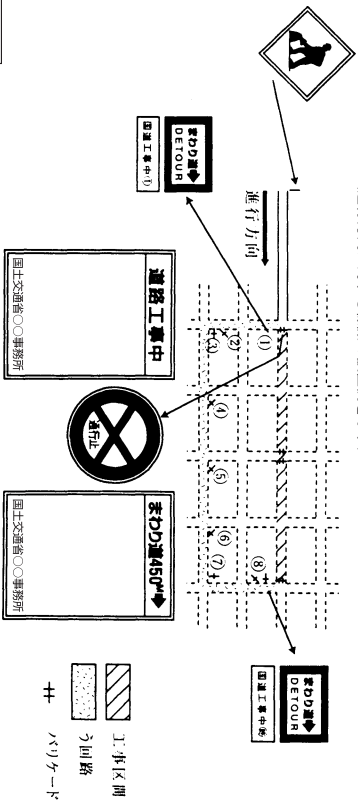
基準

| 記号 | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
|---------------------|---|--|---|
| 名称 | 保安灯 | 歩道柵 | 回転灯 |
| 様式および標準寸法 (単位mm) |  |  |  |
| 注 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 視認距離夜間150m以上の効果をもつものであること。 (2) 保安灯の設置間隔は3mを標準とする。 (3) スズラン灯およびチューブ式を含む。 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 柱およびロープは、黒黄の縞をほどこすものとする。 (2) ロープの外径は12mm以上とする。 (3) 柱間隔は約5mとする。 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 確認距離200m以上の効果をもつ黄色回転灯とする。 |

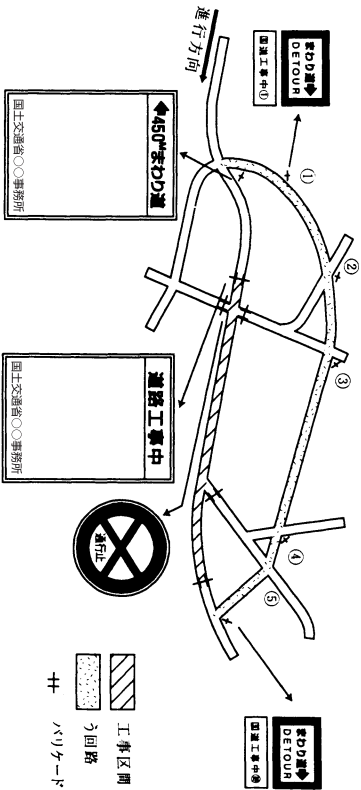
保安施設標準様式図

| 記号 | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ |
|-------------------------|--|---|---|---|
| 名称 | 誘導標示板 | まわり道案内表示板 | まわり道標識(120-A) | 作業者等添加標示板 |
| 様式および 標準寸法 (単位mm) | | | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> この作業はガソリン税自動車重量税で実施中です。 </div> |
| 注 | (1) 色彩は矢印「←」を黄色、地は黒、工事中・徐行標識は標識令による。地は緑とし、内部照明とする。 また、矢印「←」は点滅式とする。 | (1) 字体はゴシック体とし、文字及び縁線は、青色、地色は白色とする。なお「まわり道→」の地は白色スコッチライトとする。 (2) 文字標示板は、作業に応じて使い分けること。 | (1) 字体はゴシック体とし、文字及び縁線は青色、矢印を赤色、地色は白色スコッチライトとする。 | |

参考 1 工事中 う回路の標示例（市街部の場合）
（進行方向に對する標識の設置例を示す）

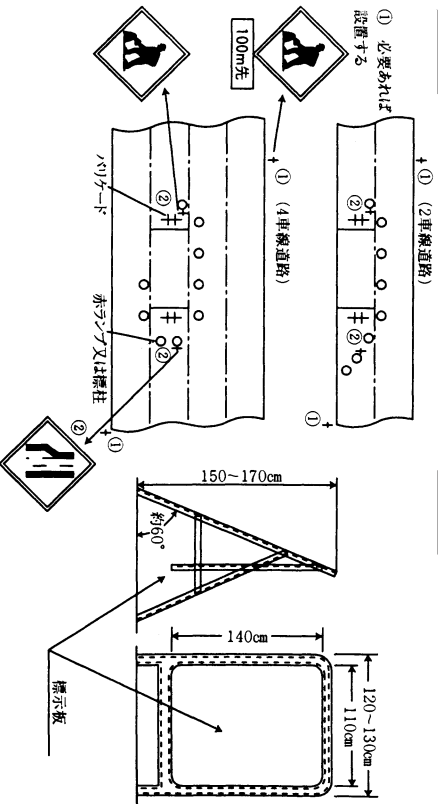


参考 2 工事中 う回路の標示例（地方部の場合）
（進行方向に對する標識の設置例を示す）

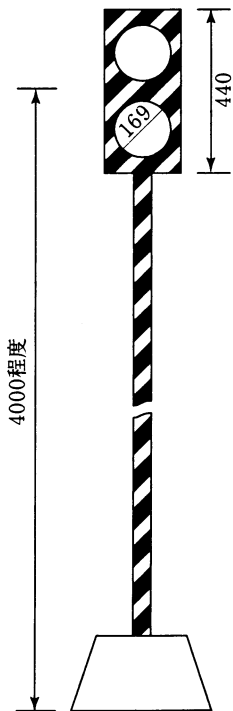


参考 3 車線の一部が工事中の場合の標示例

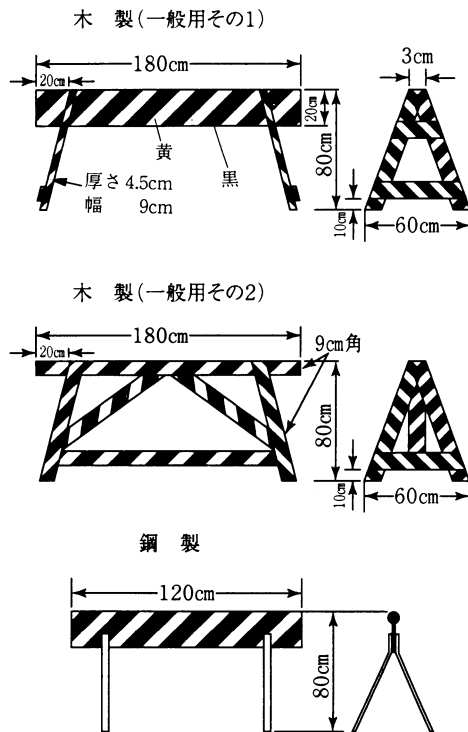
参考 4 設置方法の一例



参考5 交通信号機

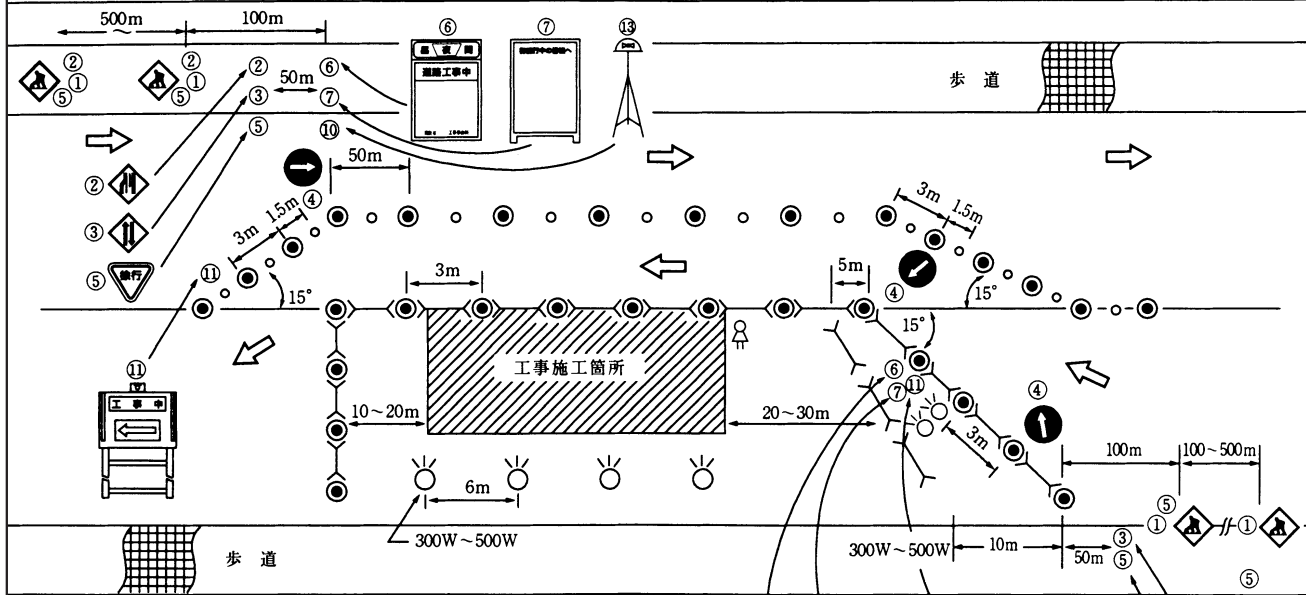


参考6 バリケード



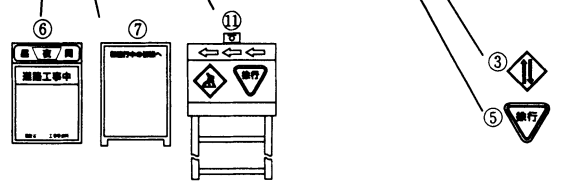
A-1型標準図

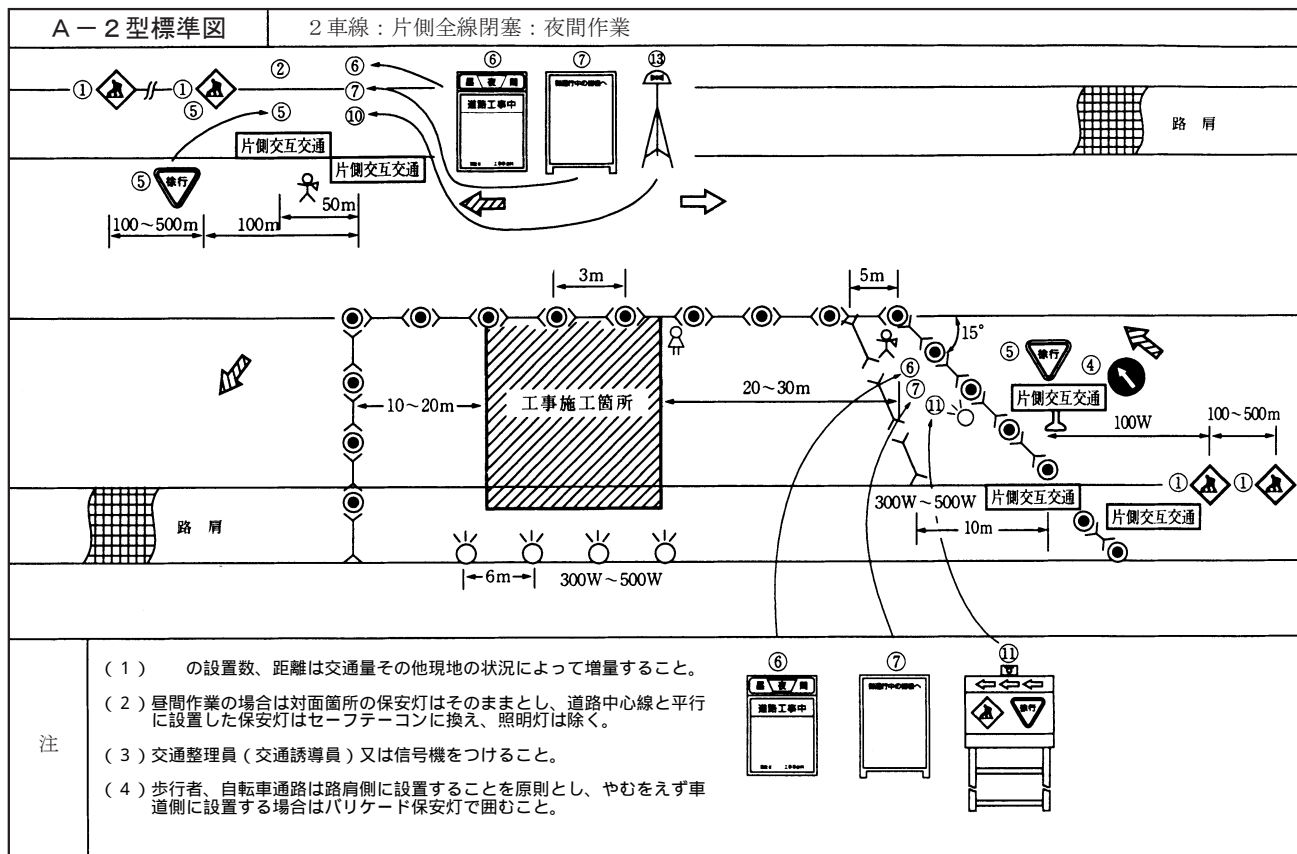
4車線：片側全車線閉塞：夜間作業



- (1) の設置数、距離は交通量その他現地の状況によって増量すること。
 (2) 昼間作業の場合は対面箇所には保安灯はそのままとし、道路中心線と平行に設置した保安灯はセーフテコンに換え照明灯は除く。

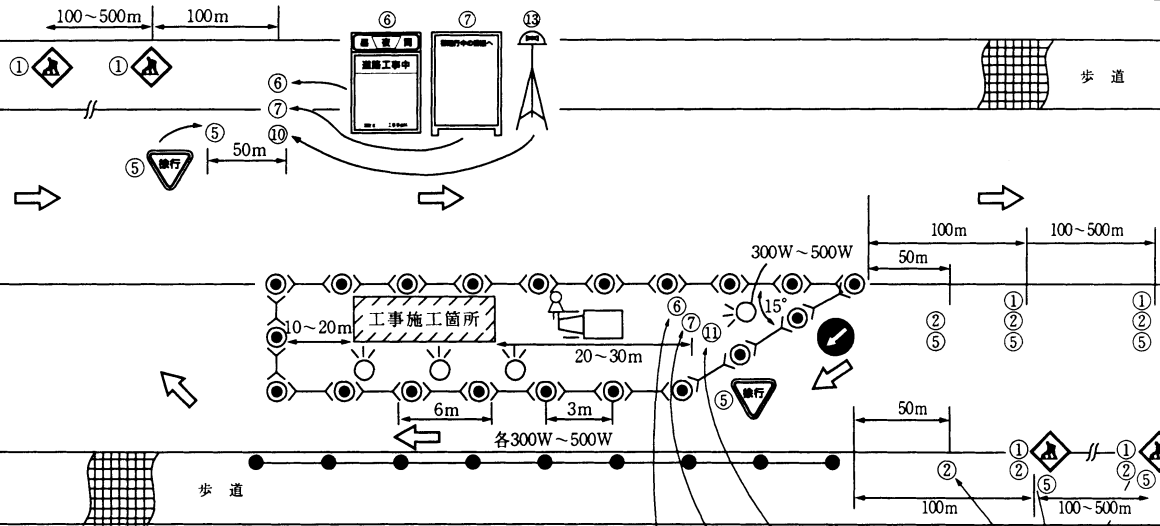
注



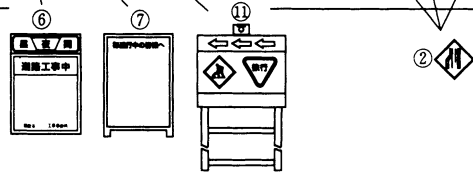


A-3 型標準図

4車線以上：片側一車線以上通行可：夜間作業

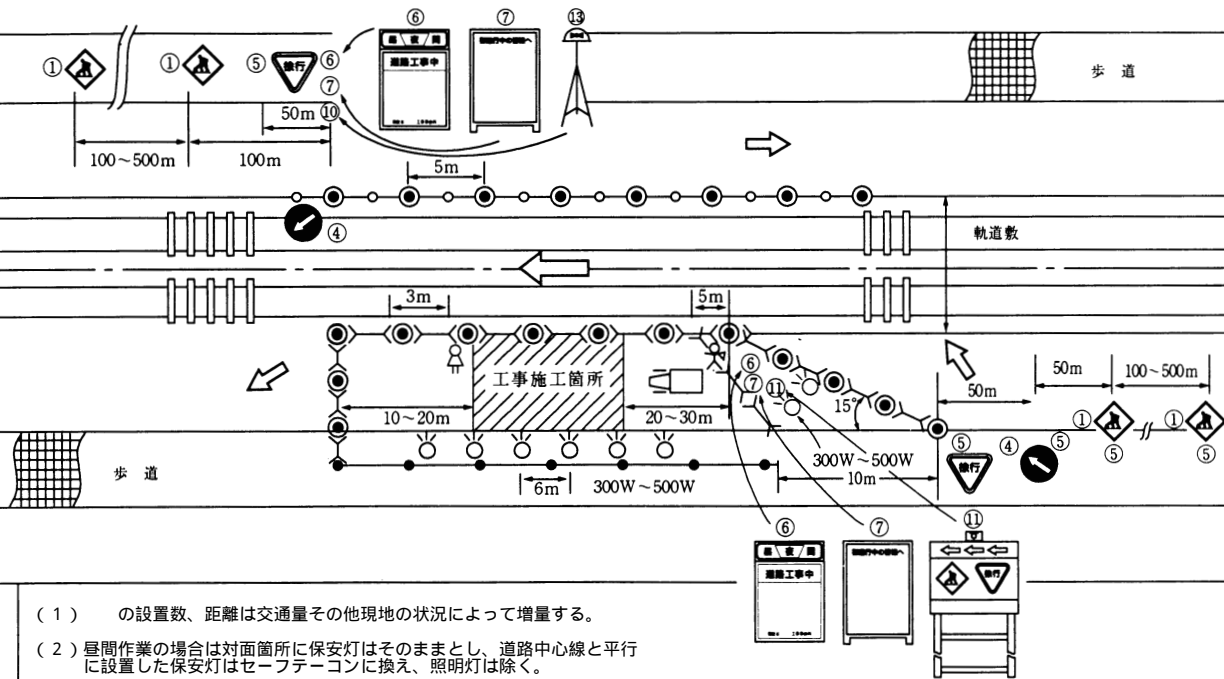


- 注
- (1) の設置数、距離は交通量その他現地の状況によって増量する。
 - (2) 昼間作業の場合は対面箇所に保安灯はそのままとし、道路中心線と平行に設置した保安灯はセーフテコンに換え、照明灯は除く。
 - (3) 作業休止のある工事では、休止中はバリケードを半固定式とする。



A-4 型標準図

4車線以上：片側全線閉塞：軌道のある場合：夜間作業

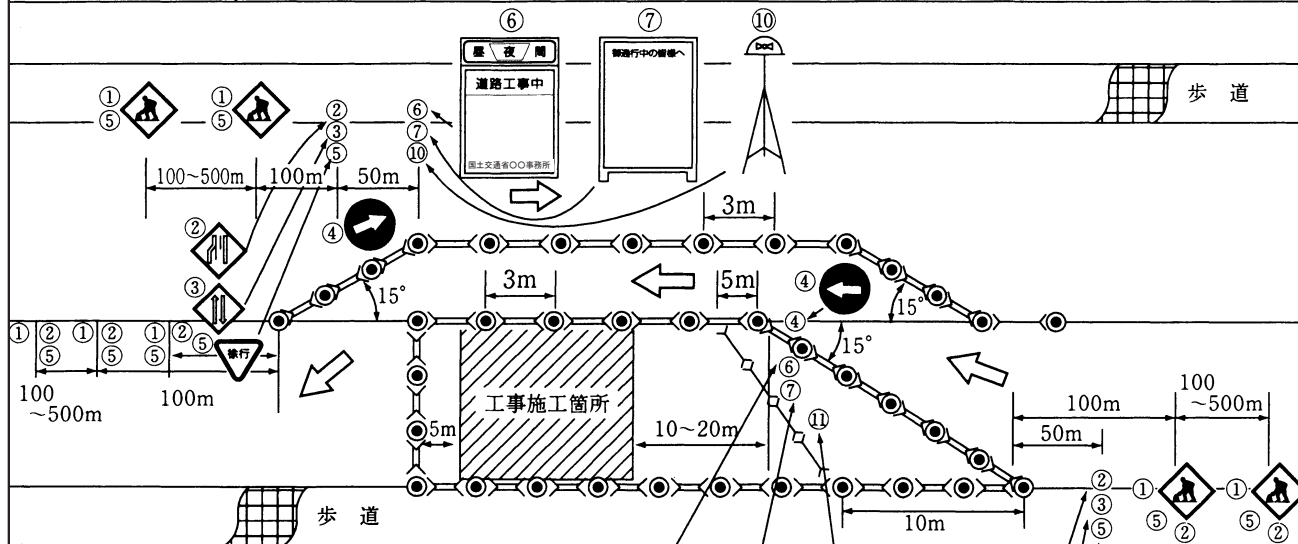


- (1) の設置数、距離は交通量その他現地の状況によって増量する。
- (2) 昼間作業の場合は対面箇所には保安灯はそのままとし、道路中心線と平行に設置した保安灯はセーフテコンに換え、照明灯は除く。

注

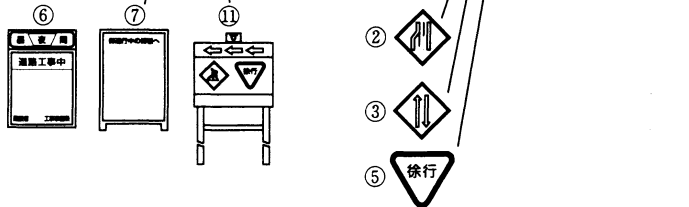
B-1型標準図

4車線以上：作業休止中：路面占用して片側通行：昼夜間



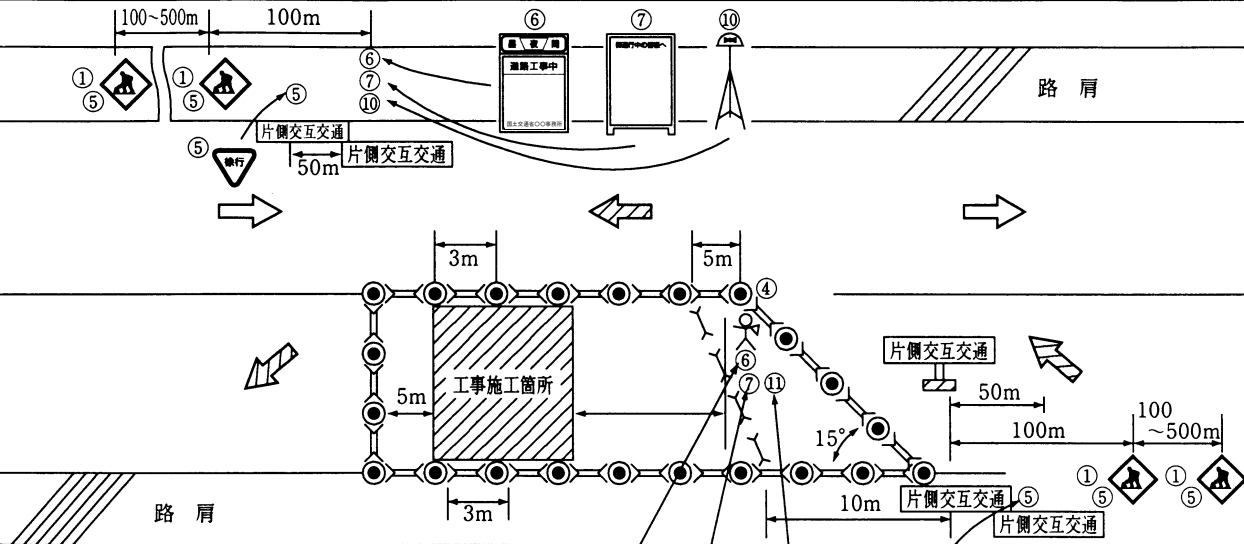
(1) の設置数、距離は交通量その他現地の状況により増量する。

注



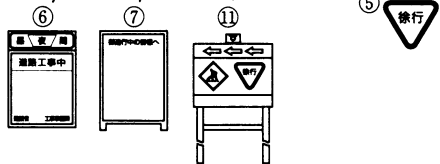
B-2型標準図

4車線未滿：作業休止中：路面占用して片側通行させる場合：昼夜間



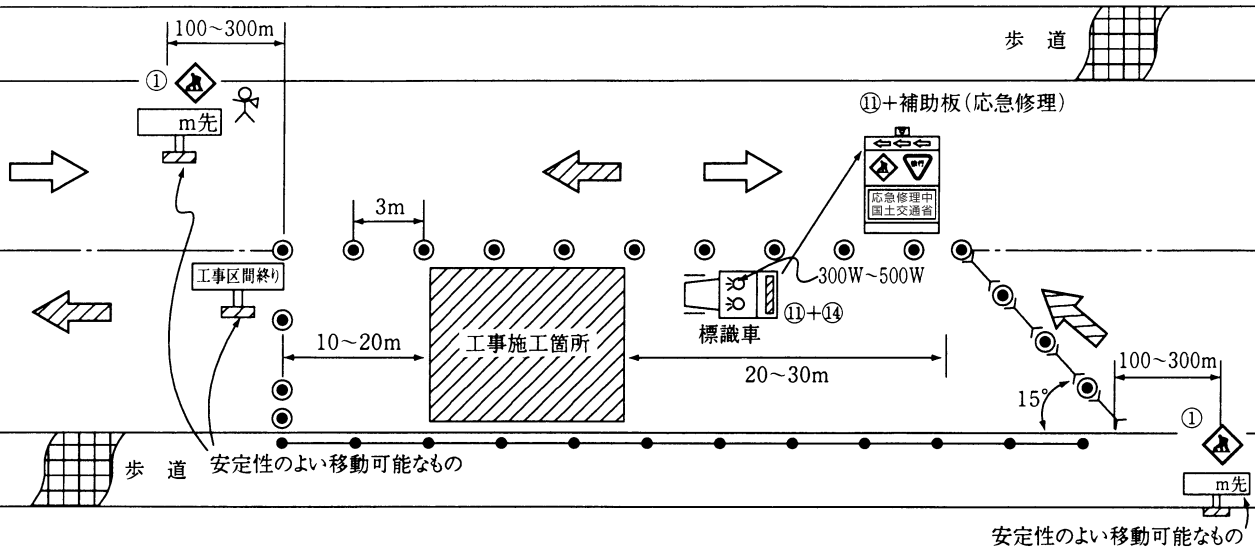
- (1) の設置数、距離は交通量その他現地の状況により増量する。
 (2) 交通整理員（交通誘導員）又は信号機をつけること。

注



C-1型標準図

2車線：片側全車線閉塞：局部打換（小規模）：カットカバー等：夜間工事



- (1) の設置数、距離については交通量その他現地の状況により増量する。
- (2) 昼間作業の場合は保安灯をセーフテコンに換え照明灯は除く。

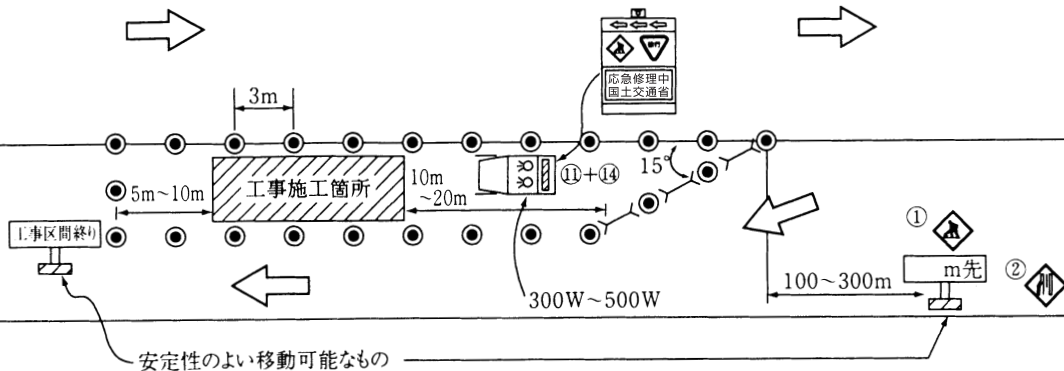
注

C-2型標準図

4車線以上：片側一車線以上通行可：局部打換（小規模）：カットカバー等：夜間工事

歩道

⑪+補助板(応急修理中)

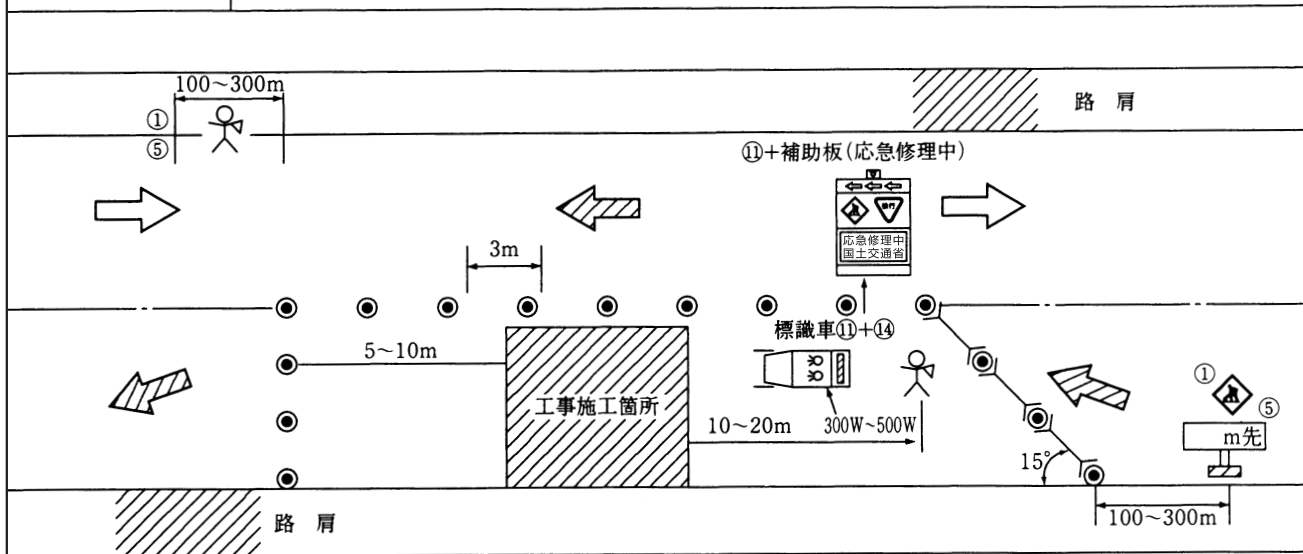


- (1) の設置数、距離は交通量その他現地の状況により増量する。
- (2) 昼間作業の場合保安灯をセーフテコンに換え照明灯は除く。

注

D-1 型標準図

目地シール作業等（比較的短時間に作業箇所を移動する場合）：夜間作業

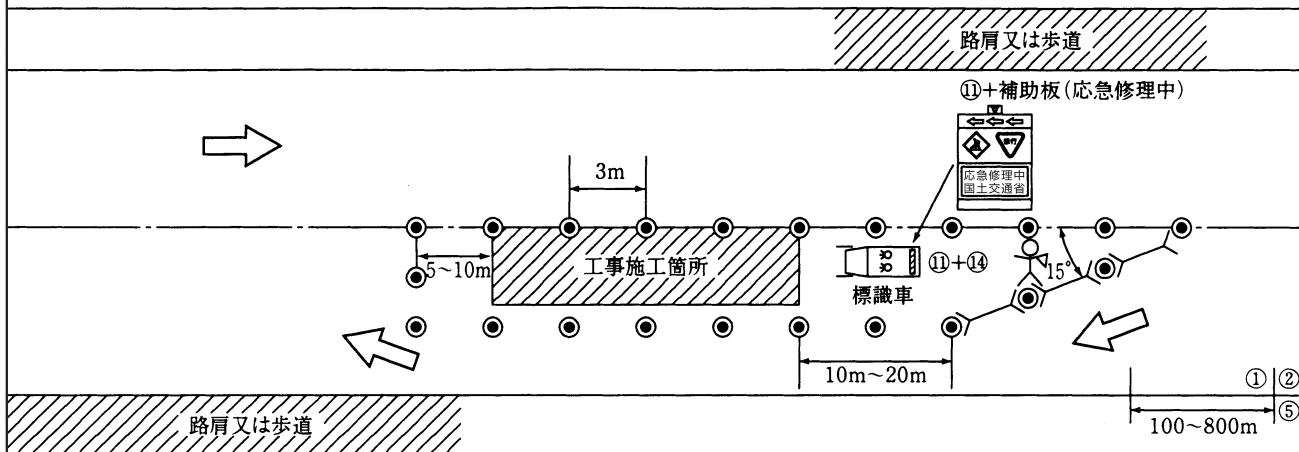


- (1) の設置数、距離は交通量その他現地の状況により増量する。
 (2) 昼間作業の場合は、保安灯をセーフテークンに換え照明灯は除く。

注

D-2型標準図

目地シール作業：一車線以上確保：（比較的短時間に作業箇所移動）：夜間作業

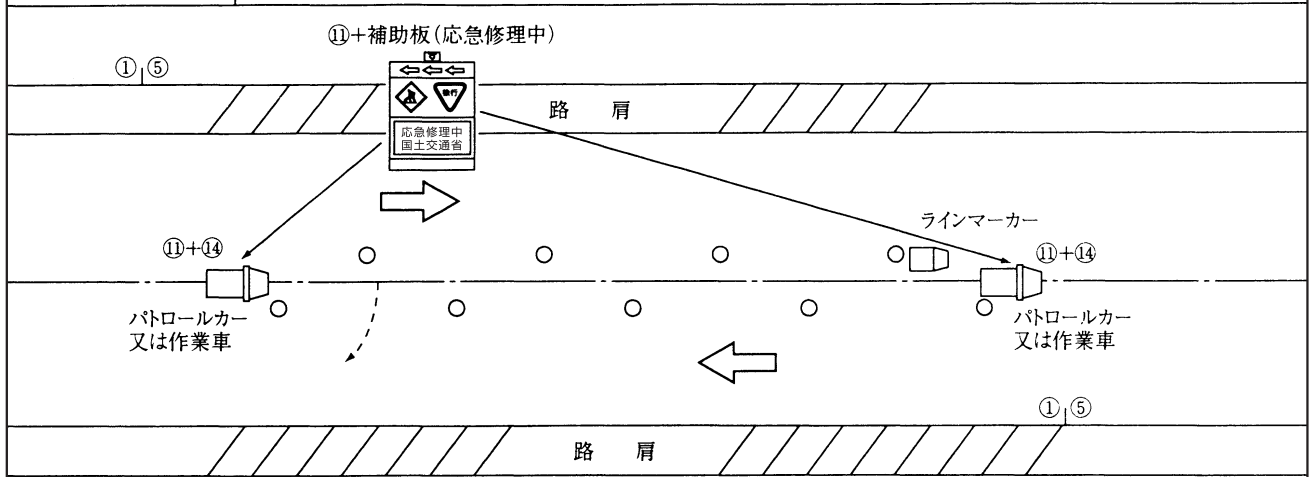


(1) 昼間作業の場合は保安灯をセーフテコンに換え照明灯は除く。

注

E 型 標準 図

レーンマーク作業：昼間作業

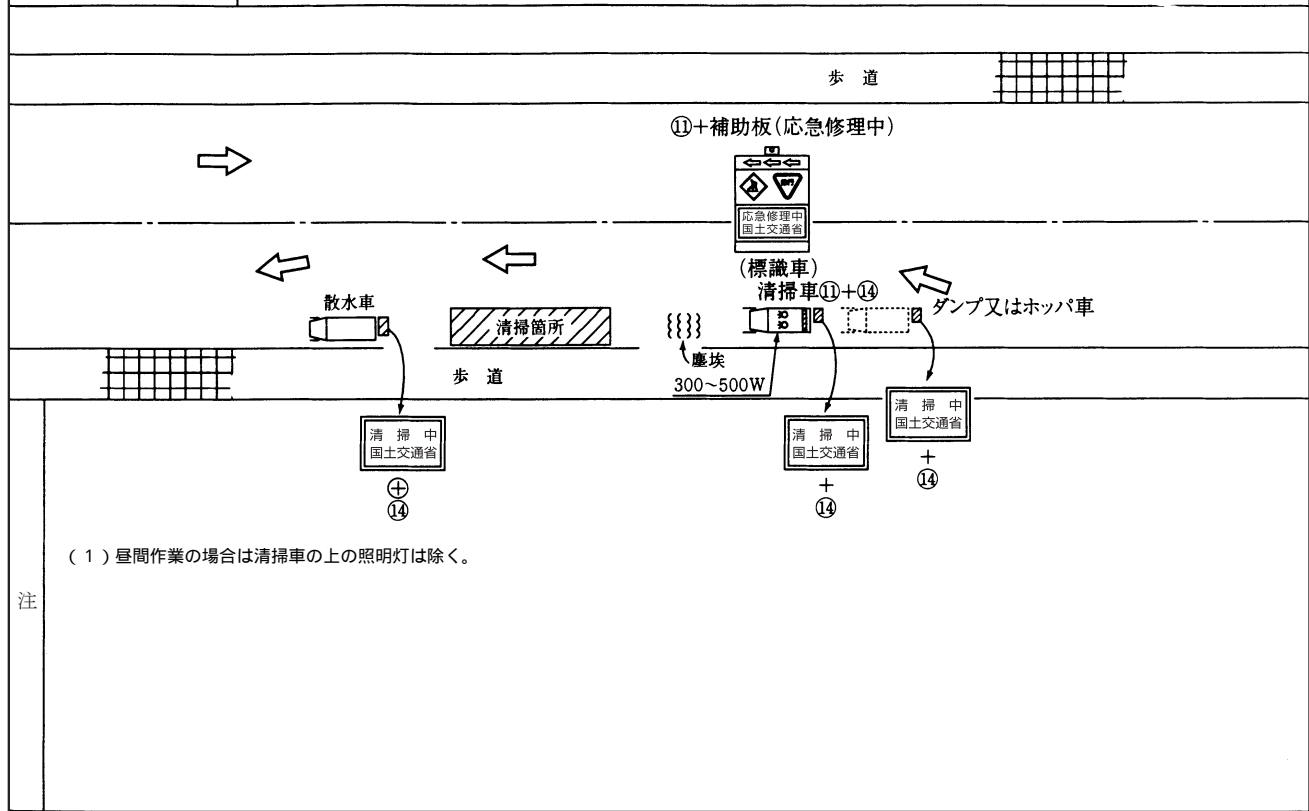


(1) 1日の施工区間の前後に を設置する。

注

F-1 型標準図

路面清掃：夜間作業

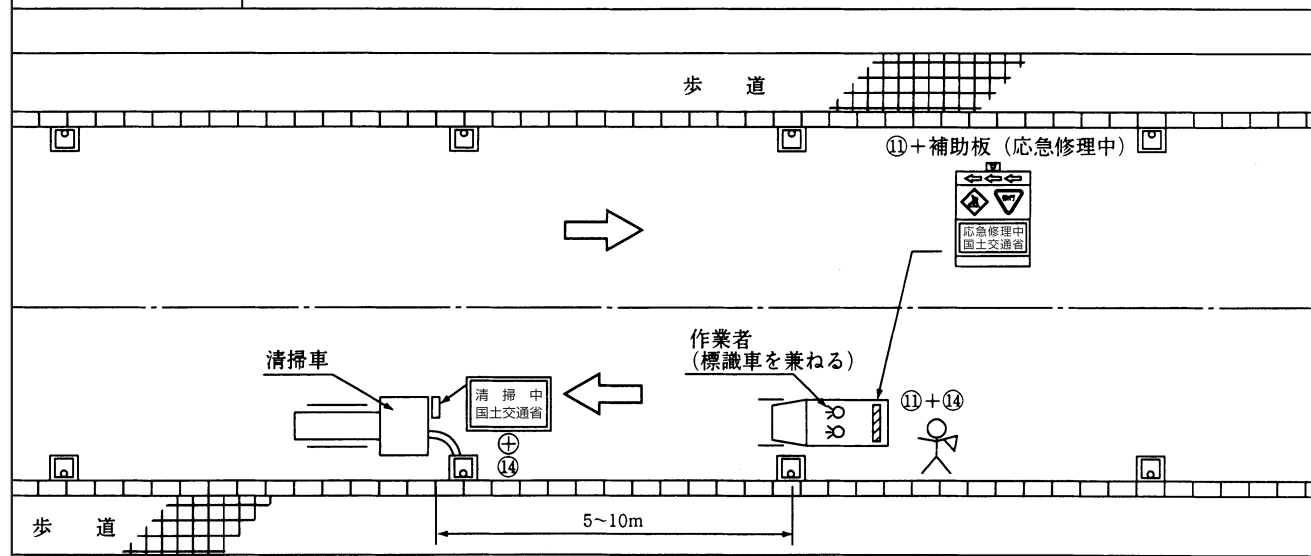


(1) 昼間作業の場合は清掃車の上の照明灯は除く。

注

F-2型標準図

街渠樹清掃：夜間作業

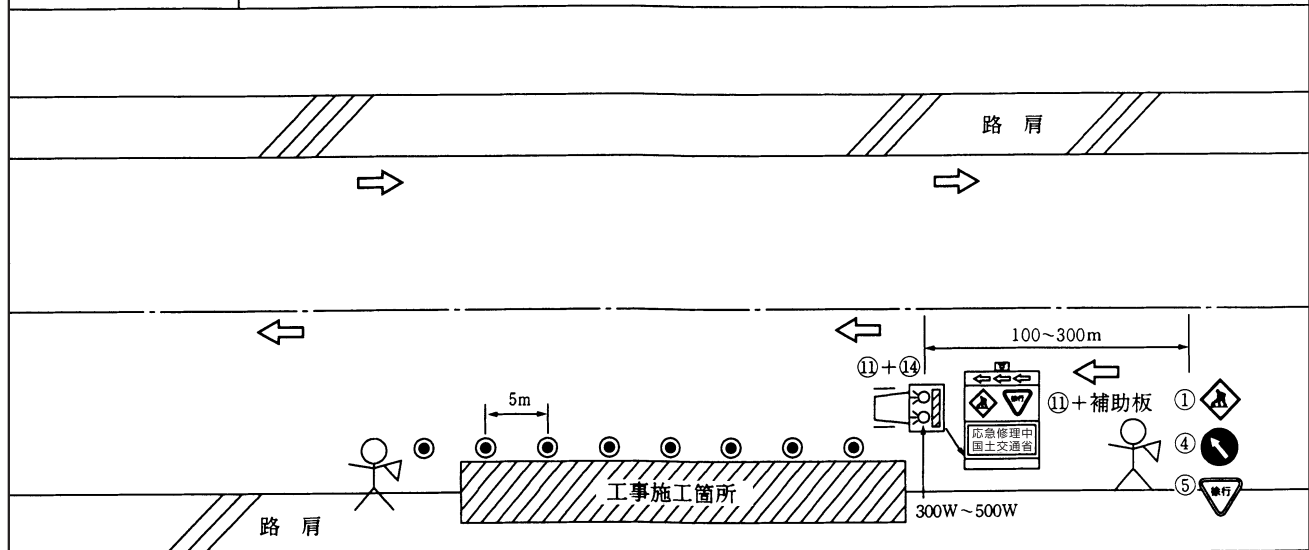


(1) 昼間の場合は清掃車の上の照明灯は除く。

注

F-3型標準図

除草：側溝ガードレール等の清掃：路肩整正：ガードレール標識等の設置修繕作業：夜間作業

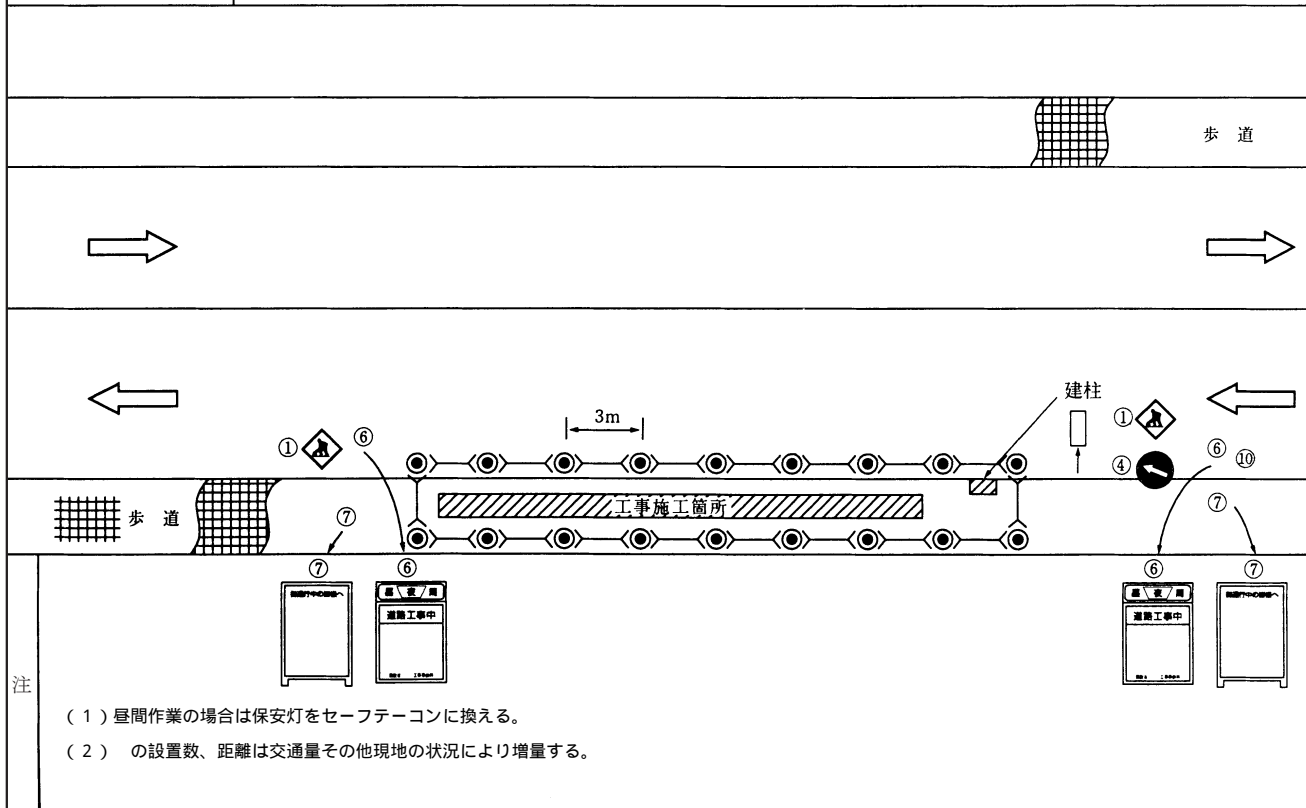


- (1) 昼間作業の場合は保安灯をセーフテークンに換え照明は除く。
 (2) の設置数、距離は交通量その他現地の状況により増量する。

注

G 型 標準 図

道路照明ケーブル埋設建柱：夜間作業



- (1) 昼間作業の場合は保安灯をセーフテークンに換える。
- (2) の設置数、距離は交通量その他現地の状況により増量する。

工事現場における表示板の記載例(表題部)

| 事業名 | 工事中名 | 設 計 書 記 載 工 事 名 | 備考 |
|------|--------|---|----|
| 道路 | 道路 | 道路改良、道路改築、道路整備 自転車・歩行者道設置、道路災害防除、災害復旧 電線共同溝、標識(照明)設置、自転車道整備 交差点改良、植栽 | |
| | 舗装 | 舗装新設、舗装補修 | |
| | 橋梁 | 橋梁新設、橋梁改築、橋梁補修 歩道橋新設、歩道橋補修 | |
| 河川 | 河川 | 河川改修、河川浚渫、河川環境整備、ダム周辺環境整備 調整池整備、災害復旧 | |
| | 海岸 | 護岸 | |
| | ダム建設 | 河川総合開発、治水ダム建設 | |
| | ダム周辺整備 | ダム周辺環境整備 | |
| | ダム関連 | 水資源対策 | |
| | ダム改良 | ダム施設改良 | |
| 砂防 | 砂防 | 砂防、急傾斜地崩壊対策、地すべり対策 | |
| 港湾 | 港湾 | 港湾改修、港湾環境整備、地区造成 | |
| | 漁港 | 漁港改修、漁港浚渫、漁港環境整備 | |
| | 海岸 | 港湾(漁港)海岸施設整備、港湾(漁港)海岸環境整備 | |
| 都市 | 道路 | 道路改築、電線共同溝、街路整備 道路整備 | |
| | 舗装 | 道路改築、街路整備、道路整備 | |
| | 橋梁 | 橋梁整備 | |
| | 鉄道高架 | 連続立体交差、立体交差 | |
| | 公園 | 公園整備 | |
| | | 土地区画整理 ()については工事内容に即し上記等の工事中に準ずる) | |
| 下水道 | 下水道 | 下水道管理設 | |
| 占用工事 | 下水道 | 下水道管理設 | |
| | 水道 | 水道管理設 | |
| | 電線共同溝 | 電線管理設 | |